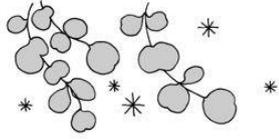


P連だより



【他の人のために 時間を使う】

調布市立国領小学校

校長 内海 美穂

「他の人のために自分の時間を使うということは自分の時間が奪われて損をすることではありません。それどころか他では味わえない特別な喜びで心がいっぱい満たされることです。こんな大きなお返しをもらえることなんてめったにありません。」

【君たちに伝えたいこと】 聖路加国際病院名誉院長 日野原重明

PTA 活動は自分のことだけでなく、他人のために働くボランティア活動です。「子どもたちのために」という共通の思いのもと、自分の時間を使って携わっていただいています。代表としての役目、参加する役目、裏方となり支える役目・・・一人一人が今できる役目を担っていただいていることが、PTA 活動を支え、学校を支え、子どもたちを支える力につながっています。P 連の様々な活動や3年ぶりに対面で開かれた教育懇談会での皆様の姿に、初めに紹介したこの言葉が浮かんできました。命の授業をされた日野原先生は「人のために時間を使えたとき、時間は一番生きてくる。」と、私達に伝えています。

保護者の皆様、そして PTA 連合会の皆様にはこの一年、様々な形で学校の教育活動にご理解ご協力をいただきましたことを重ねてお礼申し上げます。

「自分のために使う時間」も「人のために使う時間」も大切にしながら、今を生きる子どもたちの笑顔のために、皆で知恵を出し合い、特別な喜びを感じていきたいと思っています。これからどうぞよろしく願いいたします。

令和4年度活動報告



教育懇談会 (委員長 第四中学校 大西 七奈子会長)

今回の教育懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大により令和元年度以来3年ぶりの対面での開催となりました。一人でも多くの保護者の皆様に参加していただきたく、YouTube ライブ配信を行い沢山の方が参加してくださいました。無事に開催できたのも関係者の皆様のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。

教育懇談会は、子どもと保護者、地域の課題について語り合う大切な集まりです。今年度のテーマは、'デジタル化で広がる'学び'の幅～次世代を歩む子どもたちのための ICT 教育について考える～です。世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受け新しい生活様式が求められている中、日本の教育現場も変わりつつあります。オンライン授業の導入やデバイス(タブレットなど)の活用により'学び'の効率化と同時に授業の質向上など教科書メインの机上の学問だけでは得がたい体験を補完する動きも活発化しております。

本年度の教育懇談会は、国立大学法人電気通信大学安部客員教授による講演と参加者によるディスカッションの2部構成で実施いたしました。デジタル学習がもたらす学びの変化・子どもたちの学びはどう変わるか・進む ICT 教育について意見交換し、子どもたちのアウトプットに重点を置き、自発的に調べ考えた事を表現するという探求的な学びを助ける役割が大切であること、「ICT の活用は、まずやってみること(検索)」など話し合う貴重な時間となりました。

これからの時代、教育の ICT 化が今まで以上のスピードで進んでいくでしょう。しかし、あらゆるものがデジタル化されても、リアルな大切さを子どもたちに伝え、デジタルとリアルのバランスを適切に保ちながら、子どもたちの教育がより豊かになることを社会全体で目指していけるとよいですね。最後になりましたが、教育懇談会担当の皆様、ともに考え支えてくださったこと心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

施設改善・環境整備委員会（委員長 染地小 道林 正樹会長）

令和4年度施設改善・環境整備特別委員会、委員長を務めさせていただいております、染地小学校PTA会長の道林です。
施設改善・環境整備特別委員会では、子どもたちのより良い学習環境のため、そして安全面・防犯面の整備を進めるため、各学校より施設改善要望書及び環境整備要望書を提出していただき、調布市教育委員会、社会教育課へ提出をいたしました。提出にあたっては、各学校、校外委員と連携をして進めております。

進学フェア 2022 in 調布（担当 第六中学校 山口 真弓）

新型コロナウイルスの影響により昨年同様、紙面にて開催いたしました。（配布期間：7月中旬～10月初め）
「進学フェア 2022 in 調布 on Paper」と「教えて先輩 2022」の2種類を調布市内中学校に配布を致しました。進学資料の一つとして多く生徒さんの目に触れてもらう事が出来ました。ご協力をいただきました皆様ありがとうございました。

P連・令和4年度の取り組み（P連会長 早坂 寿晃会長）

令和も早いもので5回目の新しい年を迎え、新たな決意や目標を掲げたり、昨年を振り返ったりと、大人も子どもたちもそれぞれの心構えで新しい年を迎えたと思われまます。

PTAとしても今は大きな転換期であり、これまでの活動とか存在意義など、それなりの意識を持って活動することも大事なことだとは分かっていますが、今はそんな難しいことや面倒なことは必要なことではなく、学校生活のサポートで協力が必要になった時に、自然とたくさん大人の手が伸びてきてくれるような環境を作ることが今大事なことなのではないかと思います。

この頃は共働き世帯も格段に増えてきて、家庭と学校との距離も少なからず遠のいているのではないのでしょうか。子どもたちが一日の活動時間の半分を過ごす学校という場所、子育ての中において親の目から離れた長い時間をそこで過ごしています。

学校にいる間の子どもたちの見守りは学校教職員の目に頼るしかありませんが、先生方は一般教育含めた教育課程はもとより、社会教育や文化的活動などなど数多くの学校行政や地域対応に加え、万全な感染症対策などの安心安全な環境保持と併せて子どもたち一人一人のケアまで求められています。先生方のやる気や、志に頼るやり方ではもはや限界を迎えていると思います。先生方には大変失礼かもしれませんが、はっきり言ってお仕事とはいえ私にはできません。頭が下がります。

全国的に広がる教員の受験者数や採用数の定員割れによる教員不足、子どもたちのケアがもちろん第一ではありますが、先生方のケアも必要な時になってきていると思います。

私たち保護者は在学中の今だけではなく、後に続くことも考えながら一人でも多くの『お手伝い』で、少しでも先生方がより子どもたちに集中して目を向けられる時間と余裕を持てるよう協力し合うことが、私たちが今すぐに来ることなのではないかと思います。各ご家庭で様々な事情やご都合があると思います、出来る時に、出来る事を、出来る範囲で、PTA活動も活用しながら誰もがリラックスした笑顔でいられる学校環境を、たくさんのご理解とご協力に包まれた中でPTAは今の時代に合った活動を目指していきたいですね。

体育行事（担当役員 上ノ原小 小川 克久会長）

体育行事は、保護者同士、また、保護者と教員とがスポーツを通じて親睦を深めることで、より良いPTA活動の実現に資することを趣旨としています。

令和4年度は、3年ぶりに卓球、バドミントン、ソフトボール（小・中）の親睦大会を開催することができました（バレーボールは残念ながら中止）。各競技とも、保護者と教員とが一緒になってスポーツを楽しむ姿が多く見られました。新型コロナウイルス感染対策、出場者の減少への対応など、これまでとは違ったやり方が求められる中、各競技とも運営には大変ご苦労なされたかと思ひます。大会運営に携わってくださった皆さまに感謝申し上げます。

来年度以降も、上述の趣旨のもと、体育行事が開催できるよう、PTA会長をはじめ皆さまのご協力をお願いいたします。



今年度もP連の活動にご協力下さいましてありがとうございました。
次年度も引き続きご理解とご協力をお願い致します。

